

## 陸前高田発

## 五百羅漢像の開眼法要

震災の犠牲者を追悼し、被災者の心を慰めようと陸前高田市米崎町の普門寺で作り続けられてきた「羅漢像」が500体を超え開眼法要が営まれました。

「五百羅漢満願開眼法要」は参道の両脇に並べられた羅漢像の前で営まれ、近隣の寺から集まった僧侶が読経をして、羅漢像に魂を吹き込みました。羅漢づくりには遺族やボランティアが参加していて、作り手ごとに異なる像の柔らかな表情が人々の心を癒していきます。(8/18 ニュースエコー)



## 遠野発

## 市役所本庁舎が完成

震災で壊れた遠野市役所の建て替え工事が完了し、引渡式が行われました。完成した庁舎は鉄筋コンクリート造りの地上3階建て地下1階でカラマツやケヤキなど地元の木材が多く使われています。新庁舎では来月4日から業務がスタートします。(8/19 ニュース)



## 釜石発

## 五輪相が復興スタジアム視察

鈴木俊一東京五輪・パラリンピック担当大臣が釜石を訪れ、自らも携わるラグビーワールドカップのスタジアム建設予定地を視察しました。鈴木大臣は再来年3月末までにスタジアムが完成予定なことなど説明を受け、復興の加速と大会



成功に向け決意を新たにしていました。(8/19 ニュース)

## 宮古発

## フェリーフェスティバル

来年6月に開設される宮古と北海道・室蘭を結ぶ定期フェリー航路をPRしようというイベントが宮古市で開かれました。フェリーを運航する川崎近海汽船の担当者が使われる船や運賃などについて説明したほか、室蘭名物の焼き鳥の振る舞いやねじとボルトで作った人形の製作体験会も行われました。県内初の定期フェリー航路は1日1往復の運航で宮古にとっては復興に向けた起爆剤として期待が高まっています。(8/26 ニュース)



## 陸前高田発

## さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、8月14日に竹駒町の気仙川河川敷で開催された恒例の「気仙川花火大会」について伝えてくれました。主催は市民有志による実行委員会ですが、震災後は東北の沿岸各地で開催されている「ライトアップニッポン」や地元内外の企業、団体からの支援で実施されてきました。この日は小雨が降っていたものの花火大会の直前に止み、直径30センチの尺玉を含む4千発の花火が打ち上げられたということです。また近くの未来商店街近くには、屋台や縁日もあり家族連れや多くの人で賑わったとの事です。(8/22)

## 大船渡発

## さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

大船渡「FMねまらいん」の田村華恵さんが、大船渡のサンマについて伝えてくれました。今月24日、県内のトップを切って15トンのサンマが水揚げされました。昨年の半分以下と少なかったものの、今後の漁に期待しているという事です。また、9月17日には大船渡魚市場屋外特設会場で第31回三陸大船渡さんまつりが開催されます。「焼きサンマが1尾200円で販売される他、特産品コーナーやステージショーもあり、盛りだくさんの楽しいイベントになります」と話していました。(8/30)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122